

東北大学大学院における共同研究部門開設のお知らせ



ニチレキ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小幡 学、以下「当社」）は東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター（宮城県仙台市青葉区、センター長：久田 真、以下「IMC」）と共同して、同大学院に「インフラマネジメント “足すテナビリティ”^{※1} 共同研究部門」を開設しました。

この共同研究部門では道路を対象として、IMC によるデータサイエンスを中心とする情報処理技術と、当社による舗装材料開発や道路診断等の舗装の創造技術を両輪とした、新しい道路インフラマネジメントシステムを構築します。さらに、構築したシステムを道路管理者のインフラ維持管理業務に導入するための実証を行い、より実効性の高いシステムとなるようブラッシュアップを図ります。道路管理実務への導入実証については、IMC が構築した「東北インフラ・マネジメント・プラットフォーム（TIMP）」^{※2}を活用します。次ページの別添資料も併せてご参照ください。

成果は適宜、当社および IMC のホームページや学術論文等で公表してまいります。

※1 足すテナビリティ

長寿命やリサイクルなどのさらなる性能・機能を「プラス」した、ニチレキ独自の「サステナビリティ」のこと。

※2 東北インフラ・マネジメント・プラットフォーム（TIMP）

産学官をネットワーク化し、研究開発された知識や技術を合わせて改良することで、社会実装につなげることを目的としたプラットフォーム。産学官それぞれのリソースを循環させ、地域活性化につなげる。各組織が持つ知識・ニーズ・場・人材が集結したワンストップでの活動が可能なゲートウェイ。

<お問合せ先>

ニチレキ株式会社 技術研究所
前川 亮太（まえかわ りょうた）
TEL: 0285-44-7111



インフラマネジメント“**足サテオビリティ**”共同研究部門

(“Tastainability” for infrastructure management)

研究代表者 工学研究科インフラ・マネジメント研究センター
センター長・教授 久田真
契約相手方 ニチレキ株式会社
期 間 令和5年4月1日～令和10年3月31日(新規:5年間)

* **足サテオビリティ**とは…長寿命やリサイクルなどのさらなる性能・機能を「**プラス**」したニチレキ独自の「**サステナビリティ**」

目的

- 社会におけるニーズの多様化を背景として、様々な人や機能に対応するスマートインフラマネジメントが注目されている。一方で、高度経済成長期等に整備されたインフラの老朽化が進行しており、施設管理者である官公庁の予算や人員の減少とともに、インフラマネジメントの在り方が社会的課題となっている。
- 本研究では、道路を対象に、**データサイエンスを中心とする情報処理技術**と、**ニーズに応じた舗装の創造技術**という先端技術の両輪を活用し、**新しい道路インフラマネジメントシステムの構築**を行い、そのシステムを**官公庁のインフラ維持管理業務に導入するための実証**を行う。

内容

- 先端技術の活用による長寿命化等の機能向上の技術開発
- 先端技術を活用することによる、スマートインフラマネジメントシステムに資する、道路管理者や市民のメリットの評価方法の構築
- 新しい道路インフラマネジメントシステムの構築と実証



東北大学
インフラ・マネジメント研究センター (IMC)

東北インフラ・マネジメント・プラットフォーム (TIMP) を活用して、技術の地域展開をサポートする。



道路管理者を対象とした勉強会の開催



データサイエンス

新しい道路インフラ
マネジメントシステム
の構築



NICHIREKI ニチレキ株式会社

舗装材料

ニーズに応じた舗装の創造技術



長寿命化 ポリマー改質アスファルト
『**スーパーシナヤカファルト (低炭素型)**』

実証

官公庁のインフラ維持管理業務に導入するための実証



コンサルティング



工法・施工



スマートインフラマネジメントに対応したデータ活用と舗装の診断・措置技術により、管理者(官公庁)の業務負担軽減と、利用者(市民)の安全性・利便性向上をめざす!